

2024 年 12 月 4 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

デジタル庁のデジタル認証アプリを通した本人確認に CTC の ID 基盤「SELMID」が対応 マイナンバーカードを使用した認証機能の開発を迅速化

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、デジタル庁が提供する「デジタル認証アプリ」に対応した CTC の ID 統合管理プラットフォーム「SELMID(セルミッド)」のサービスを本日から開始します。各種のアプリや Web サービスでマイナンバーカードを使用して安全な本人確認や認証が可能となります。初期費用が 150 万円～(税抜き)、月額 50 万円(税抜き)からの提供で、B2C 向けの Web サービスを展開している企業を中心に展開し、SELMID 全体として 1 年間で 3 億円の売上を目指します。

アプリや Web サービスのオンライン認証では、なりすましを含む不正アクセスを防止するために高度な認証技術の導入が求められていますが、安全な認証のために本人確認のプロセスが複雑になる場合もあります。

今回提供するサービスは、マイナンバーカードを使った認証を簡単かつ安全に行えるデジタル庁の「デジタル認証アプリ」を通して、公的個人認証サービス(JPKI)を活用し、本人確認を公的な第三者機関によって行うものです。B2C 向け ID 基盤クラウドサービスの SELMID が「デジタル認証アプリ」に対応することにより、アプリや Web サービスを提供する企業は複雑で高度な認証機能や ID 接続機能の開発を一から行うことなく、SELMID に用意されたテンプレートに従って設定を行うだけで、短期間での構築が可能となります。

また、ID やパスワードでログインを行う既存のサービスも、SELMID を活用すれば、よりセキュアなマイナンバーカードでの本人確認を実現することができます。デジタル認証アプリを利用してマイナンバーカードの IC チップに格納されている基本 4 情報(氏名・住所・生年月日・性別)を読み取ることで、利用者に負担をかけることなく、より正確な属性情報をアプリや Web サービスで利用できるようになります。

CTC は、2018 年から SELMID を提供しており、学生や会員などのアカウント管理と認証の機能を持つ IDaaS (Identity as a Service)として、教育機関や民間企業で多くの活用実績があります。

今後もデジタル ID 及びデジタル認証に関連した機能を SELMID に拡充し、データ流通の信頼性向上に向けた仕組みの提供を通して、安心できるデジタル社会の実現に貢献していきます。

■SELMID とデジタル認証アプリを通した本人確認イメージ



■デジタル認証アプリのサービス事業者一覧

<https://services.digital.go.jp/auth-and-sign/case-studies/>

- ※ その他、記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

＜報道機関からのお問い合わせ先＞
 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 広報部
 E-mail: press@ctc-g.co.jp